

手軽に本に親しむ 出張図書館

1 学校の概要

- ①〒965-0802 福島県会津若松市徒之町 1 番 37 号
- ②学級数：4、生徒数：20 名（令和 6 年 5 月 1 日現在）
- ③学校図書館の蔵書数：8998 冊（令和 6 年 5 月 1 日現在）

2 本校図書館の現状

夜間定時制である本校は、司書教諭の配置がないことから各生徒が貸出簿に手書きで記録し、自身で返却するという方法によって貸し出しを行っている。しかし、その手続きに面倒さを感じるためか、徐々に生徒の貸し出し冊数が減少傾向にある。高校生に人気のある図書を購入したり、書影を活用した新刊情報を掲示したりするなどして生徒の興味関心に訴えようとしているが、もっと生徒たちが手軽に本に親しむことができる工夫が必要であると考えた。

そこで、今年度は試験的に折り畳み式コンテナを活用した出張図書館（各クラスへの一括貸し出し）を行うことにした。国語の授業を活用し、生徒たちが気になった本をコンテナに入れる。その際、コンテナには本の背表紙が見えるような形で本を入れ、写真を撮影し印刷。返却時はその写真と同じになるようにコンテナに本を戻すというやり方を採った。コンテナの写真はクラス担任に配布し、各教室での本の管理に関して協力をお願いした。

実施した結果は以下の通りである。

- ・貸し出し時、ほとんどのクラスで生徒たちはコンテナがいっぱいになるほど本を詰め込んだ。タイトルや表紙に惹かれたという理由であった。手軽であれば本を読みたい、気になるという気持ちがあるということが分かった。
- ・クラスに持っていけるということで、クラスメイトと楽しめるようなクイズや探索系の絵本などの人気が高かった。また、設置してあった新刊コーナーの本もよく手に取られた。
- ・各クラスでの管理は、ほとんど問題なく行われていた。返却時、一時的に所在が不明になってしまった本が 1 冊あったが、その後の呼びかけで無事返却された。
- ・返却時、生徒たちは本が書架のどこにあったかを忘れてしまっているため、ほとんどを図書担当の教員 1 名で戻した。これは大変な労力であった。
- ・各クラスで国語の授業時間が 2 時間必要である（貸し出しと返却）ため、教科の学習の時間を考えると頻繁に行うことはできない。



生徒たちが本を入れたコンテナ

このように、出張図書館の取り組みで生徒たちが手軽に本を手取るきっかけを作ることができたが、方法には改善の余地が見られる。今後は工夫を加えながら実践していきたい。